

名古屋大学大学院環境学研究科・准教授 公募要領

1	募 集 件 名	准教授の公募
2	募集者の名称	国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学
3	所 属	大学院環境学研究科都市環境学専攻建築・環境デザイン講座
4	募 集 内 容	[職務内容（業務内容、担当科目等）] （雇入れ直後） <業務内容> 建築計画または都市計画を中心としたデザイン分野の教育研究、およびそれらの成果を活かした社会連携と国際交流。特に、以下の3点。 ①建築計画または都市計画を中心とした計画および設計教育の推進を担い、かつ、国際的な合同授業の拡充とともに、日本型教育・日本型学問の国際的普及を担う。 ②国内外の都市・地域の持続的発展および再生を目指した建築または都市空間等の計画・設計に関する研究を展開し、その成果を国内外に発信する。 ③地方自治体や NPO 等との連携による地域再生の活動に参画し、問題解決型の提案と実践を進め、教育や研究にフィードバックする。 <担当授業科目> (1) 大学院 ・博士前期課程： - 建築または都市空間等の計画・設計に関する講義(15 コマ) - 建築または都市空間等の計画・設計に関する実習(30 コマ) - 建築・環境デザインセミナー (30 コマ) ・博士後期課程： - 建築・環境デザインセミナー (30 コマ) (2) 学部： - 建築または都市空間等の計画・設計に関する講義 (15 コマ) - 空間設計および演習第 1 (15 コマ)、または同第 2 (15 コマ) - 建築設計および演習第 1 (15 コマ)、または同第 2 (15 コマ) - 総合設計および演習第 1 (30 コマ)、同第 2 (30 コマ) - 卒業研究 A (30 コマ)、同 B (30 コマ) - 工学部環境土木・建築学科が担当する全学教育科目 1 科目 (15 コマ) <その他> 全学関係、環境学研究科および都市環境学専攻、工学部および環境土木・建築学科、建築・環境デザイン講座それぞれの管理・運営に関する業務を担当する。 （変更の範囲） 東海国立大学機構が指定する業務

		[勤務地] (雇入れ直後) 愛知県名古屋市千種区 (変更の範囲) 東海国立大学機構が指定する就業場所	
		[募集人員] 准教授(任期無)・1名	
		[着任時期] 2027年4月1日	
5	募集研究分野	大分類	社会基盤
		小分類	建築計画、都市計画
6	勤務形態	常勤 任期なし	
7	応募資格	[必要な特定分野の資格・条件(学位などを含む)・専門性等の詳細] 以下の要件を備えた人材。国籍は問わないが、日本語と英語で講義や演習、研究指導等が行えること。 1. 研究について、博士の学位(または Ph.D.)を有し、建築学分野、特に建築計画または都市計画等に関する高度な学識や見識と、国内の同分野の研究を先導する意欲を有する人材。また、環境学研究科が進める地球規模課題への対応の一環として、都市・地域の持続的発展および再生についての研究課題をフィールド学に基づいた手法により取り組み、その成果を国内外に発信できる人材。そのため、学術論文のほか、著書(単著、共著、分担執筆)、刊行物に掲載された建築や都市空間等の計画・設計作品等があれば評価する。 2. 教育について、建築計画または都市計画等に関する研究成果を活かして、大学院および学部における当該分野の教育を担うことができる人材。そのため、建築計画または都市計画等の講義や設計科目の教育経験(常勤、非常勤を問わず)、学部生の卒業研究や博士前期課程(修士課程)、博士後期課程(博士課程)の学生に対する学位論文の主指導や副指導、審査委員会の主査や副査の経験があれば評価する。 また、環境学研究科が進める国際的教育、特に学術交流協定機関との継続的な国際交流や国際共同教育プログラムの実施において中心的役割を担い、それを通して日本型建築教育を海外に普及できる人材。そのため、海外の大学との国際交流事業についての経験や海外留学経験、当該分野に関する外国語の著書や翻訳書(単著、共著、分担執筆)があれば評価する。 3. 社会連携・貢献について、地方自治体や NPO 等との連携事業、特に地域再生事業に積極的に取り組むことができる人材。そのため、建築や都市空間等の計画・設計に関する作品や実務上の実績、建築計画、都市計画、設計競技、文化財の保存・活用等に関する公的委員会の委員経験等があれば評価する。	

8	待 遇	[採用後の待遇（給与、勤務時間、休日、雇用期間、保険等）] ・東海国立大学機構名古屋大学職員就業規則の定めるところによる。 ： https://public1.legalcrud.com/thers_ac/act/110010928.html ・給与は東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用教員給与規程において定める年俸制とする。 ： https://public1.legalcrud.com/thers_ac/act/110001585.html ・専門業務型裁量労働制により、1日7時間45分働いたものとみなされる。 ・休日：土・日曜日、国民の祝日、年末年始（12月29日～1月3日） ・加入保険：文部科学省共済組合、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険 ・受動喫煙防止措置：原則としてキャンパス内は喫煙禁止
9	応 募 期 間	2026 年 9 月 4 日～2026 年 10 月 30 日
10	応 募 ・ 選 考 結 果 通 知 連 絡 先	[応募方法（提出書類データの送付先）] A. 応募書類 1) 履歴書^{注)} ・学歴、職歴、賞罰、学会における活動、社会における活動。 2) 業績リスト^{注)} 査読論文や講演・口頭発表、書籍、計画・設計に関する作品等。 ・論文、講演・口頭発表等、書籍等出版物、受賞歴、競争的資金等の研究課題、特許、指導歴・担当経験のある科目、委員歴、その他（社会貢献項目等）。論文等の書誌情報は過不足なく記載すること。 ・建築や都市空間等の計画・設計に関する作品や実務上の実績があれば、そのリストはその他（社会貢献項目等）に記載し、応募者の役割と、刊行物に掲載されている場合にはその書誌情報を記載すること。 ・研究指導経験として、学部生の卒業研究や博士前期課程（修士課程）、同後期課程の院生に関する主および副指導教員の担当、学位審査委員会の主査および副査の担当があれば、指導歴の欄に記載すること。 3) 人物・業績照会者（応募者が名古屋大学に在籍する場合は不要） ・2名の連絡先 4) 主要な原著論文3編を含む主な研究業績。 ・計5編までとし、コピーも可とする。 ・著書の場合、郵送による提出も可とする（2026年10月30日の消印有効）。郵送する場合には、下記「B. 応募書類の提出方法」に従って確認メールを送信する際に、メール文面にその旨を記し、下記「11.その他」の問合先まで郵送すること。 5) 建築や都市空間等の計画・設計に関する作品や実務上の実績 ・該当する業績がある場合、その内容がわかる資料。3件までとし、郵送による提出は不可とする。 6) 研究実績と抱負（1,500字程度） 7) 教育実績と抱負（1,500字程度） 8) 社会連携・貢献に関する実績と抱負（1,500字程度） 9) 特定類型該当性の自己申告書（下記11.その他を参照）

注) 上記 1) の履歴書と、2) の業績リストについては、名古屋大学が定める所定の様式で作成し、必要に応じて参考資料等を別途用意し、提出すること。また、社会連携・貢献の業績については、様式の「その他（社会貢献項目等）」に記載すること。その際、各業績における応募者の役割（代表、分担等）を明記すること。なお、1) の履歴書と 2) の業績リストの様式及び 9) の特定類型該当性の自己申告書は次の URL より入手できる。

： <http://www.env.nagoya-u.ac.jp/jobs/index.html>

B. 応募書類の提出方法

以上の書類を 1 つの PDF ファイルにまとめ、ファイル名を応募者氏名として、応募期間内に下記にアップロードし、同時に応募確認の電子メールを送付すること。応募書類受領後に電子メールを返信するので、1～2 日経過しても返信がない場合は「11.その他」に示す問合先まで連絡すること。

応募アップロード先： <https://nuss.nagoya-u.ac.jp/s/YkRWf2JrpepJbKT>

確認メール送付先　： ozaki.fuminobu.a3@f.mail.nagoya-u.ac.jp

（送信時には「(at)」を「@」に置き換えてください）

確認メール件名　　： 建築計画・都市計画教員応募確認(〇〇〇〇)　(〇〇〇〇
は応募者氏名)

[選考内容（選考方法、採否の決定）]

- ・ 書類審査の後、面接を実施する。面接は 2026 年 11 月 22 日・23 日のいずれかで実施する予定である。
- ・ 面接実施については電子メールで通知する。

11	そ の 他	・本講座は、環境学研究科都市環境学専攻建築学コース及び工学部環境土木・建築学科、全学教育を担当します。 ・本学は、多様性の推進やワークライフバランスの促進に、積極的に取り組んでいます。詳細については以下の URL をご覧ください。 ・ジェンダーダイバーシティセンターWeb サイト ： https://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/ ・ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン&ビロッキング(Diversity, Equity, Inclusion & Belonging: DEIB) 推進宣言 ： https://www.thers.ac.jp/about/declaration/deib/index.html ・本学は、業績（研究、教育、社会連携・貢献、人物を含む）の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。 ・出産・育児・介護・病気等の理由により、過去に研究活動を中断・遅延した期間があれば、その点を履歴書に記載することができます。本学ではそれを記載したことにより、不当な評価を受けることはありません。 ・2021 年 11 月「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員の機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、教職員として本学に応募される際、「類型該当性判断のフローチャート」に基づく「特定類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。 ・本学では、県外から本学への応募又は着任を検討している研究者・教員を対象に、地域情報並びに配偶者・パートナー等の就業及びキャリア形成に関する情報提供や相談対応等を行う「パートナー帯同プログラム」を実施しています。詳細は下記をご覧ください。 ： https://valueglow.jp/relocation/participant/portal.html?univ=nagoya_u ・提出された書類については、本選考以外の目的には使用しません。 ・応募書類は、本選考委員会が責任を持って処分し、返却しません。 ・面接に要する交通費は支給しません。 ・問合せ先 〒464-8603 愛知県名古屋市千種区不老町 名古屋大学 ES 総合館 552 室 名古屋大学大学院環境学研究科 都市環境学専攻 建築学系長 尾崎文宣 電話：052-789-3766 電子メール：ozaki.fuminobu.a3(at)f.mail.nagoya-u.ac.jp （送信時には「(at)」を「@」に置き換えてください）
----	-------	---